

生徒自治会 組織と活動内容

生徒自治会 組織構成の概要

大阪府立岸和田高等学校生徒自治会（以下、自治会）は、岸和田高校の全生徒を会員とする組織である。

また、役員、代議員、学級委員を選出し、自治会顧問の補佐を受け、議会、執行委員会、自治会委員会、学級自治会、クラブ連絡会といった機関を置くこととなっている。

生徒自治会の組織構成は原則としては生徒自治会会則に従うこととなっている。実際は、組織構成そのものは自治会会則に従っていることが多いが、その組織の詳細に関しては実情に合わせて自治会会則とは異なったものとなっていることも多い。

自治会の役職

1. 役員

自治会活動の代表者となる人のこと。任期は前後期制。現在は会長、副会長、書記、会計が1名ずつで、その他に学年執行委員から文書係を選ぶことができる。これは1948年の自治会発足時と同じであるが（文書係は不明）、一貫してその体制だったかはまだ調査できていないので不明。ただし1997年度以降は一貫してこの体制である。

役職ごとに選挙を行い選出する。なお立候補者のいない役職は、代議員から候補者を選び選挙を行う。また会則には明記されていないが、立候補者が1名のみの役職は、信任とするか不信任とするかの信任投票を行い、信任が過半数の場合に役員となる。

現在では執行委員会が事実上機能していないため、この「四役」のことを一般的には自治会執行部と呼ぶ。

2. 代議員

任期は前後期制で、選挙によって各クラスから2名選ばれる……と会則には書いているが現在はクラスでの押し付け合い立候補制となっている。生徒議会を構成し、執行委員会の行動の可否を議決によって決定する役割があるほか、自治会委員会を構成して代議員自身も自治会の仕事の一端を担う。また、執行部や議会の連絡を一般生徒（＝会員）に伝え、学級自治会を開くことで一般生徒の意見を吸い上げるのも役割の一つである。

3. 選挙管理委員

任期は通年で、各クラスから1名選出。代議員・役員選挙を管理するという名目上、代議員や学級委員（保健委員を除く）より早く選出される。

4. 学級委員

互選によって選ばれる、学校生活の様々な業務を分担して担当する人。2018年度現在はHR・保健・会計・図書・運動・厚生・集会の学級委員が置かれている。選定は任期が通年または前期である委員は4月初め、任期が後期である委員は9月ごろであるが、実際にはすべて4月に決めて

いた気もする（筆者の記憶があいまい）。なお、保健委員のみ健康診断に動員される都合上、他の学級委員より早く選出されている。

2015年度までは自治会委員会に対応した文化・運動・厚生・集会・庶務・会計の学級委員と、「学校から業務を委託された係」として保健・HR委員が置かれていたが、2016年度に庶務が廃止され、文化が図書に置き換えられた。また、2006年度までは討公委員があり、文化祭の討公を運営していた。

なお、学級委員の種類ごとに文化祭の業務が割り当てられるようになったことが初めて確認されるのは2009年度で、それ以前は文化祭業務の担当者を別途クラス内で選出していたとみられる。

各委員の人数は会則には定められておらず、実情に応じて変更される。

2018年度現在の学級委員の主な業務内容は以下の通りである。

委員役職名	活動内容（2018年度時点）
会計	通年1名。3年遠足・文化祭等のクラス会計を行う。
図書	前期・後期各1名。学校図書館・芸術鑑賞の仕事や文化祭の金券管理を行う。
運動	前期・後期男女各1名。クラスマッチの仕事を行う。 文化祭では駐輪場での自転車の誘導を行う。
厚生	前期・後期各1名。教室・校舎の環境整備、加湿器の管理を行う。 文化祭ではテント・ゴミ箱の設営・撤収、ゴミ箱のゴミ回収を行う。
集会	前期・後期各1名。集会時の点呼を行う。
HR	前期・後期各1名。クラスのホームルーム活動の計画・実施を行う。 文化祭では受付と正門前での自転車の誘導を行う。
保健	通年・男女各1名。健康診断の準備、当日の仕事など。 文化祭ではテント・ゴミ箱の設営・撤収、ゴミ箱のゴミ回収を行う。

5.岸高祭実行委員

任期は通年で、互選によって各クラスから4名（2015年度以降、それ以前は1・2年は4名、3年は2名、さらに以前は1・2年は男女2名ずつ、3年は男女1名ずつ）選ばれる、岸高祭に関連する委員。

2018年度時点では1年生の半分が芸能祭の受付、もう半部分が備品の貸出と返却、2年生が金券販売場の設営と撤収、3年生が芸能祭の場内誘導とアナウンスを行っている。

6.体育祭委員

任期は通年で、互選によって各クラスから男女1名ずつ選ばれる。2006年に文化祭と体育祭が分離したことによって新設された委員会。

2018年度時点ではメンバー表の作成やハチマキの管理などを行っている。

7.SFC係

任期は通年で、互選によって各クラスから1名ずつ選ばれる。文化祭のSFC（School Flag C

ompetition クラス旗コンクール) の管理を行う。

8.教員顧問

教員から若干名割り当てられ、自治会の指導・助言を行う。現在は分掌（教員が割り当てられる校内の組織）の一つに自治会部があり、その構成員を教員顧問と呼ぶことができるだろう。また、自治会部のトップが自治会部長で、自治会執行部を直接指導・助言するのは自治会部長であることが多い。

なお、（確認できる範囲では1997年度から）2008年度までは自治会指導部が、2009年度から2015年度までは学校生活部の自治会班が自治会の指導をしていた。

会則上の役割は最初に述べた通りだが、それだけではなく定例的な自治会行事のおおよその運営も行っている。教員顧問なしでは現在までの自治会の活動はあり得ないのである。

もっとも、生徒の目につきにくいところで働いていて、執行部でさえも存在を知らない顧問がいたりもする。

これらの構成員から以下の組織が構成される。

1. 生徒議会

役員と代議員によって構成され、自治会が何をするかを決定する組織。ただし現在では任期の初めに集められるほかは、クラブの設立時など手続きに議会の承認がどうしても必要な時に呼ばれるか、顧問や執行部がクラスへ伝えたいことがあるときに伝言係として呼ばれるかのどちらかであることが多い。

2. 自治会委員会

自治会の業務のうち、専門的なものを行う組織。代議員が所属する。

（確認できる範囲では1990年度から）2015年度までは文化・運動・集会・庶務・厚生・会計の6つの委員会があったが、現在は文化・体育・庶務の3つとなっている。

各委員の人数は会則には定められておらず、実情に応じて変更される。なお、運動・体育委員については男女別に定員が設定されることがある。

下の表は各委員会の活動内容（途中で廃止されたものも含む）を表にしたものである。なお、岸高祭に関連する活動は下線を引いている。

～2015年度	活動内容（2003年度）	2016年度～	活動内容（2018年度）
文化	<u>七タコンサート(～2002年度)</u> <u>アトラクションコンサート</u> (～1999年度) 合唱コンクール	文化	<u>文化祭の開・閉会式</u> <u>文化祭の中庭イベント</u> 合唱コンクール
集会	<u>岸高祭の開・閉会式</u> <u>岸高祭（体育祭）の後夜祭</u> <u>クリスマスコンサート</u> (～1999年度)	体育	<u>文化祭受付（3年）</u> <u>文化祭駐輪場誘導（1,2年）</u> <u>体育祭の後夜祭</u> クラスマッチ
運動	クラスマッチ		
庶務	<u>岸高祭ポスターの募集</u> <u>岸高祭のビデオ記録</u> クラブ紹介イベントの運営	庶務	<u>文化祭募金</u> クラブ紹介イベントの運営 クラブ補助金の制定 あいさつ運動 古紙回収活動
厚生	<u>募金</u> 制服・食堂問題など様々		
会計	<u>岸高祭予算・クラブ補助金</u>		

3. クラブ連絡会

議会での議事を各クラブに説明したり、各クラブ間の調整を行ったりするらしい。現在はもっぱらクラブ代表者会議と呼ばれ、その内容も自治会顧問の説明が中心となっている。

4. 執行委員会

役員・代議員の学年代表1名ずつ・自治会委員会の委員長によって組織され、議会で決定した事項を執行する機関。1999年度を最後にその名前は登場しなくなった。しかし……

??? .執行部

自治会の歴史にたびたび登場する謎の機関。その名前は自治会会則には一切登場しない。かつては執行委員会の言いかえとして用いられていたが、次第に四役（+文書係）を指すようになった。現在では執行委員会と生徒議会の両方の役割を担っている。

5.岸高祭実行委員会

かつて存在した委員会。2012年度には存在していたが、2016年度には廃止されている。

一部の自治会委員会（代議員からなる委員会のこと）と十数個の小委員会によって構成されており、小委員会は四役・各学年執行委員（代議員の学年代表）・岸高祭実行委員と各分掌から数名ずつ割り当てられた教員（学級担任は対象外、2005年の場合は計22名）によって構成されていた。また、特定の委員会には放送部員も加わっていた。

小委員会の内訳は、2005年度の場合、総務・準備・討公・芸能祭・視聴覚・展示・食品バザー・体育祭・放送・警備・衛生・金券である。それぞれの活動内容や小委員会の変遷については岸高祭ページを参照のこと。

2018年度現在、岸高祭委員会が担当していた業務は、運営については教員と自治会執行部、実務については自治会執行部・代議員・学級委員に分担して割り振られている（係によっては学年や性別でも割り振られている）。

6.岸高祭運営委員会

岸高祭についての意思決定機関。四役・岸高祭関連の委員会委員長、自治会顧問で構成されていた。

自治会の書類

2006年度の時点では、執行部・自治会委員会は前期・後期開始時に基本方針を提出し、終了時に総括を提出していた。また、岸高祭関連では、前年度の3学期に岸高祭総括を決定し、5月に岸高祭基本方針として岸高祭実行委員会の各小委員会（+岸高祭に関わる自治会委員会）が具体的な方針を決定、また9月の岸高祭終了後に岸高祭総括を作成していた。

2018年現在では執行部・自治会委員会の基本方針のみが作成されている。

連絡ボックス

かつての各委員会からクラスへの連絡手段。本館2Fの5組横階段ホールに設置されており、代議員が毎日昼休みに連絡がないか見に行くというものであった。2016年度時点ですでに廃止されているが、これに使用されていたと思われる棚は2018年現在も残存している。